

おきなわ 百低山

ガイドブック

はじめに

沖縄県は、最高峰のおもと於茂登岳でも標高525mと高い山はありませんが、亜熱帯特有の動植物が数多く生息する生物多様性豊かな森林を有しており、巨大なブロッコリーのようなイタジイやヒカゲヘゴなどが茂る森が広がり、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコをはじめここでしかみられない固有種が生息し、また、多種多様な動植物が観察できるのが特長となっています。

また、山と海の間には河川、マングローブが広がっており、カヌーや沢登り、滝めぐりなどのアクティビティーを楽しめるほか、山頂からはエメラルドグリーンの海の眺望を楽しめるのも、山と海が近い沖縄ならではの山の楽しみ方です。

この度、第7回「山の日」全国大会おきなわ2023を記念して、沖縄県内の低山や自然に触れ合うことのできるスポットを市町村、観光協会、沖縄山岳会等にご協力いただき「おきなわ百低山ガイドブック」として取りまとめました。このガイドブックをとおして、多くの方々に山の魅力を知っていただき、そして安全で快適に、ルールを守り、沖縄の低山や自然を楽しんでいただければ幸いです。

CONTENTS もくじ

沖縄県の低山マップ >>P2

安全に山を歩くためには >>P4

おきなわ百低山ガイド >>P5


おきなわの低山 >>P6

その他のスポット >>P32

おきなわ百低山フォトグランプリ >>P44


本書の見方

低山ナンバー
名称／読み方
001 ネクマチヂ岳
山頂の所在地
●大宜味村 ▲標高 360m 標高
お問い合わせ先
大宜味村役場 / 0980-44-3001



Google Map
にリンク

頂上からやんばるの山並みと海の広がりが見える。山頂には色鮮やかなツバキの花が咲く群生地、山腹には炭焼窯跡も残り、人里の森を体感できる。



■カラーについて

- 本島北部エリア
- 本島中部エリア
- 那覇・本島南部エリア
- 離島エリア

沖縄県の低山マップ

本島北部エリア

- 【国頭村】
- 16 与那覇岳 [503m] (P20)
 - 17 伊部岳 [351m] (P20)
 - 18 大石林山 [100m] (P20)

- 【大宜味村】
- 01 ネクマチヂ岳 [360m] (P6)
 - 02 坊主森 [309m] (P6)
 - 03 クガニ岳 [280m] (P6)
 - 04 塩屋富士 [317m] (P6)
 - 19 玉辻山 [289m] (P20)

- 【東村】
- 20 ナカントマチヂ [280m] (P21)
 - 21 エーラ山 [-m] (P21)
 - 22 ウコール山 [160m] (P21)
 - 23 伊湯岳 [446m] (P21)

- 【名護市】
- 05 嘉津宇岳 [452m] (P8)
 - 06 三角山 [340m] (P8)
 - 07 安和岳 [432m] (P8)
 - 08 古巣岳 [391m] (P8)
 - 09 名護岳 [345m] (P10)
 - 24 八重岳 [453m] (P22)
 - 25 宇橋山 [283m] (P22)
 - 26 多野岳 [385m] (P22)

- 【今帰仁村】
- 27 乙羽岳 [275m] (P22)

- 【本部町】
- 10 本部富士 [240m] (P12)
 - 11 ウフグシクムイ [237m] (P12)
 - 12 デーサンダームイ [230m] (P12)

- 【恩納村】
- 13 熱田岳 [160m] (P14)

- 【宜野座村】
- 28 ガラマン岳 [253m] (P23)

- 【伊江村】
- 29 城山 (伊江島タッチュー) [172m] (P23)

- 【伊平屋村】
- 30 賀陽山 [294m] (P23)
 - 31 腰岳 [227m] (P23)

本島中部エリア

- 【うるま市】
- 14 石川岳 [204m] (P16)
 - 32 妙山 [201m] (P24)

- 【与那原町】
- 33 運玉森 [158m] (P24)

那覇・本島南部エリア

- 【糸満市】
- 34 与座岳 [168m] (P25)

- 【南城市】
- 36 須久名山 [148m] (P25)

- 【八重瀬町】
- 35 八重瀬岳 [163m] (P25)



第7回「山の日」全国大会
おきなわ2023 開催地
(世界自然遺産登録町村)



離島エリア

【久米島町】

- 37 だるま山 [203m] (P25)
- 38 宇江城岳 [310m] (P26)

【渡嘉敷村】

- 39 久米頂山 [37m] (P26)
- 40 照山 [170m] (P26)

【座間味村】

- 41 高月山 [131m] (P26)

【渡名喜村】

- 42 義中山 [137m] (P27)
- 43 西森 [146m] (P27)

【宮古島市】

- 44 おっぱい山 (通称) [69m] (P27)

【石垣市】

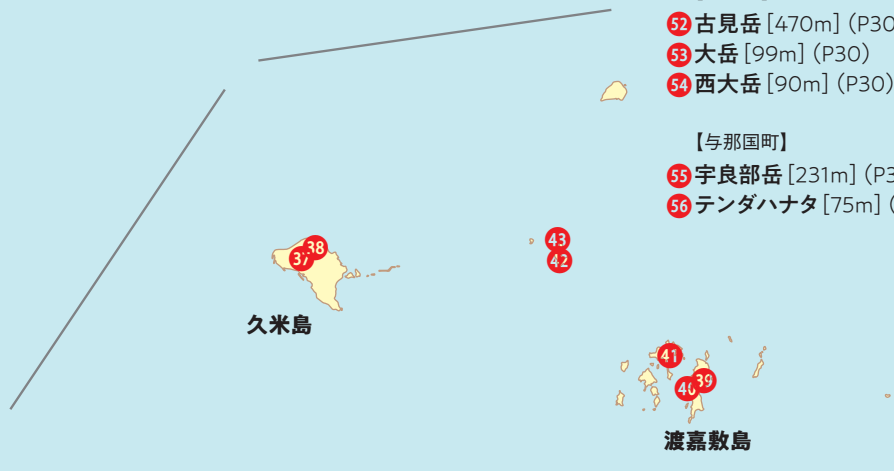
- 15 バンナ岳 [230m] (P18)
- 45 於茂登岳 [525m] (P27)
- 46 桴海於茂登岳 [477m] (P28)
- 47 ウヌヌファ岳 [450m] (P28)
- 48 野底岳 [282m] (P29)
- 49 ぶざま岳 [322m] (P29)
- 50 前嵩 [263m] (P29)
- 51 屋良部岳 [217m] (P29)

【竹富町】

- 52 古見岳 [470m] (P30)
- 53 大岳 [99m] (P30)
- 54 西大岳 [90m] (P30)

【与那国町】

- 55 宇良部岳 [231m] (P30)
- 56 テンダハナタ [75m] (P31)



安全に山を歩くためには

山の中を快適、安全に歩くためには、以下の注意事項に配慮し
事前に入念な準備をして登山しましょう。

- #1 **自分のレベルに合った山を選ぶこと**。初心者は、登山経験者や地元のガイドに同行してもらいましょう。また、インターネット等で最新の情報を集めましょう。
- #2 **早めの出発、早めの下山**のスケジュールを組みましょう。
午後からの登山は控えましょう。
- #3 低山でも、道に迷ってしまい、夕方になると山の中は暗く歩くことができません。日帰り登山でも、**必ずヘッドライトを携行**しましょう。
- #4 沖縄の山々には、ハブ、スズメバチ、アブ、ブヨなどの、**危険生物**がいます。特に登山道を歩く時は**足元周りや頭上に、ハブ等がないか確認**しながら歩きましょう。
- #5 事前に**天気予報を確認**し、悪天候が予想される場合は登山を中止しましょう。雨の日は道が滑りやすいです。特に夏は、落雷、短時間の大雨などの激しい気象現象が発生します。**天候悪化に備えて雨具を忘れずに持参**しましょう。
- #6 沖縄の登山道は、標識が無く、登山道が不明瞭なことが多く迷いやすい。道に迷った時は、確認できる場所まで、**引き返すのが基本**。**沢や谷間には、決して降りてはいけません**。
- #7 滑落、転倒の背景には、疲労による筋力や集中力の低下が、関係しています。日頃からトレーニングを継続して、長時間の行動に耐えることができる**体力づくり**をしましょう。(事故は、下山中が多いです)
また、登山中は、こまめに水分補給をしましょう。

登山のルール・マナー

- ※登山口の駐車場は駐車台数が限られているので、便乗で利用する。
- ※登山口の住民に声かけ、登山道ですれ違う時には、あいさつや情報の交換をしましょう。
- ※登山中に出たゴミは、全て自宅まで持ち帰る。(ミカンの皮・バナナの皮は、自然に還ると言って捨てる方もいますがNGです。)

[沖縄山岳会作成]

おきなわ 百岳山

【山の利用に関するお願い】

- 山の利用は自己責任です。
- 沖縄の山においても、毎年、遭難事故が発生しています。
- その捜索活動は多くの地域の住民の協力で行われています。
- 山を利用する際には、事故が無いよう各自で入念に準備を行ってください。

登山の際は、この一覧をチェック!

登山持ち物チェックリスト

長袖シャツ・長ズボン <input type="checkbox"/> 虫刺され防止及び転倒時の怪我防止。	雨具 (レインウェア) <input type="checkbox"/> 沖縄の11月～2月は、天気が変わりやすいので、晴れ予報でも必須。	防寒着 (フリース等) <input type="checkbox"/> 山でも冬は、10度以下まで気温が下がる。	トレッキングポール <input type="checkbox"/> 走行時に使用すると、膝のサポートになる。転倒防止にもなる。
手袋(軍手) <input type="checkbox"/> 手の怪我の対策等。	リュックサック <input type="checkbox"/> 25～30リットルの容量のもの。	ホイッスル <input type="checkbox"/> 緊急時に助けを呼ぶ時に使う。	帽子 <input type="checkbox"/> 日差しを避ける。
ヘッドライト <input type="checkbox"/> 夕方になると暗く、見えなくなるので日帰りでも必須。	着替え <input type="checkbox"/> 汗や雨で濡れた服の取替え用。	水分 <input type="checkbox"/> 水(1リットル)とスポーツドリンクなど、分けて持つと良い。	山ごはん <input type="checkbox"/> おにぎり・サンドイッチなど。
行動食 <input type="checkbox"/> 高エネルギーな食べ物(チョコレート)。ドライフルーツ。	ファーストエイドキット <input type="checkbox"/> 救急処置の道具、ばんそうこう等。	虫よけスプレー <input type="checkbox"/> ブヨ・アブ対策。	地図・スマホ <input type="checkbox"/> 登山道の確認、スマホのGPSで、現在地確認。モバイルバッテリー。
登山計画書 <input type="checkbox"/> メンバーとコース、日程を記載した登山計画書を作成し、家族や友人に渡す。遭難時はこれを基に捜索するので必須。	登山靴 <input type="checkbox"/> 沖縄の低山でも、足首や、足裏の負担軽減のため、ミドルカット以上の登山靴がオススメ。	ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 山に持ち込んだ物は、全て持ち帰る(ミカンの皮も)。足跡以外は何も残さない。全て持ち帰りましょう。	その他 <input type="checkbox"/> カメラ・筆記用具・ビニール袋。

[沖縄山岳会作成]

001

ねくまちぢだけ

ネクマチヂ岳

●大宜味村

▲標高 360m

☎ 大宜味村役場 / 0980-44-3001



頂上からやんばるの山並みと海の広がりが見える。山頂には色鮮やかなツバキの花が咲く群生地、山腹には炭焼窯跡も残り、人里の森を体感できる。



002

ぼうじむい

坊主森

●大宜味村

▲標高 309m

☎ 大宜味村役場 / 0980-44-3001



お坊さんの頭のように見える森・山が名前の由来となっている。登山コースの中で代表的な眺望地点で、オクマビーチや集落を見渡すことができる。



003

くがにだけ

クガニ岳

●大宜味村

▲標高 280m

☎ 大宜味村役場 / 0980-44-3001



山頂に向かう途中にぶながや広場があり、森とのふれあいを楽しむ空間となっている。ぶながやは、自然に住む精霊のことで、大宜味村は「ぶながやの里」とも呼ばれている。



004

しおやふじ

塩屋富士

●大宜味村

▲標高 317m

☎ 大宜味村役場 / 0980-44-3001



六田山登り口からのルートでは、多くの猪垣（ヤマシシガキ）がみられる。山頂は、塩屋富士広場で樹木に覆われており、展望はない。



嘉津宇岳～安和岳

自然環境保全地域

名護市の 嘉津宇連山

登山口から30分で頂上まで登ることができる。頂上からの名護湾や嘉津宇連山の稜線が美しい。また、中上級者向けには、三角山の登山口から嘉津宇連山の縦走コース(5～6時間)もあるが、分岐が分かりづらく注意が必要である。



上) 嘉津宇岳の頂上からの眺望

登山ルート

▼所要時間
約30分(登山口から頂上)

嘉津宇岳

※中腹まで車で行き、登山口のある駐車場に駐車

嘉津宇連山縦走コース

5～6時間 ※中上級者

※駐車場なし



嘉津宇岳
展望台と駐車場のある登山口からのコース

嘉津宇連山縦走コース
三角山の登山口からの縦走ルート(中上級者向け)

作成協力：勝山公民館、沖縄山岳会

005

かつだけ

嘉津宇岳

●名護市

▲標高 452m



沖縄山岳会

頂上からの名護湾の海や嘉津宇連山の稜線の美しさは目を見張るものがある。市街地からのアクセスも良いため家族で楽しめる登山コースである。



006

さんかくやま

三角山

●名護市

▲標高 340m



麓からの遠景が名の通り三角に見える。安和岳の通過ポイントではあるが山頂標識もあり、そこからの眺望は名護市内を見下ろし連山も見渡せる。



007

あわだけ

安和岳

●名護市

▲標高 432m



沖縄山岳会

沖縄本島で5番目の高さ。三角山も同様に山頂は切り立つカルスト岩石が露出している。登山には、軍手等の持ち物を確実に用意したほうが良い山。



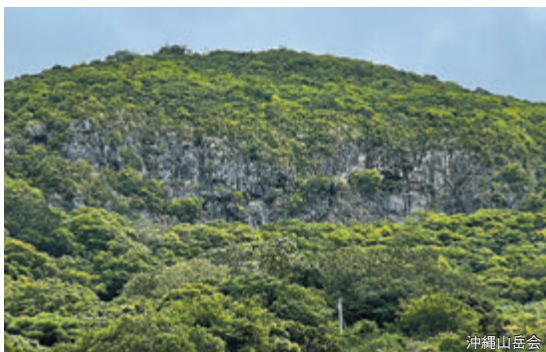
008

ふるしだけ

古巣岳

●名護市

▲標高 391m



沖縄山岳会

麓から眺めると古見台と呼ばれる石灰岩が露出した部分が特徴的な山。嘉津宇岳、登山コース第一分岐点から頂上を目指すことができる。山頂から名護湾を見下ろす眺望は素晴らしい。



009 なごだけ 名護岳

●名護市

▲標高 345m



問 名護市役所 / 0980-53-1212、県立名護青少年の家 / 0980-52-2076



名護岳山頂からの眺望



中腹から名護岳



ハイキングコース

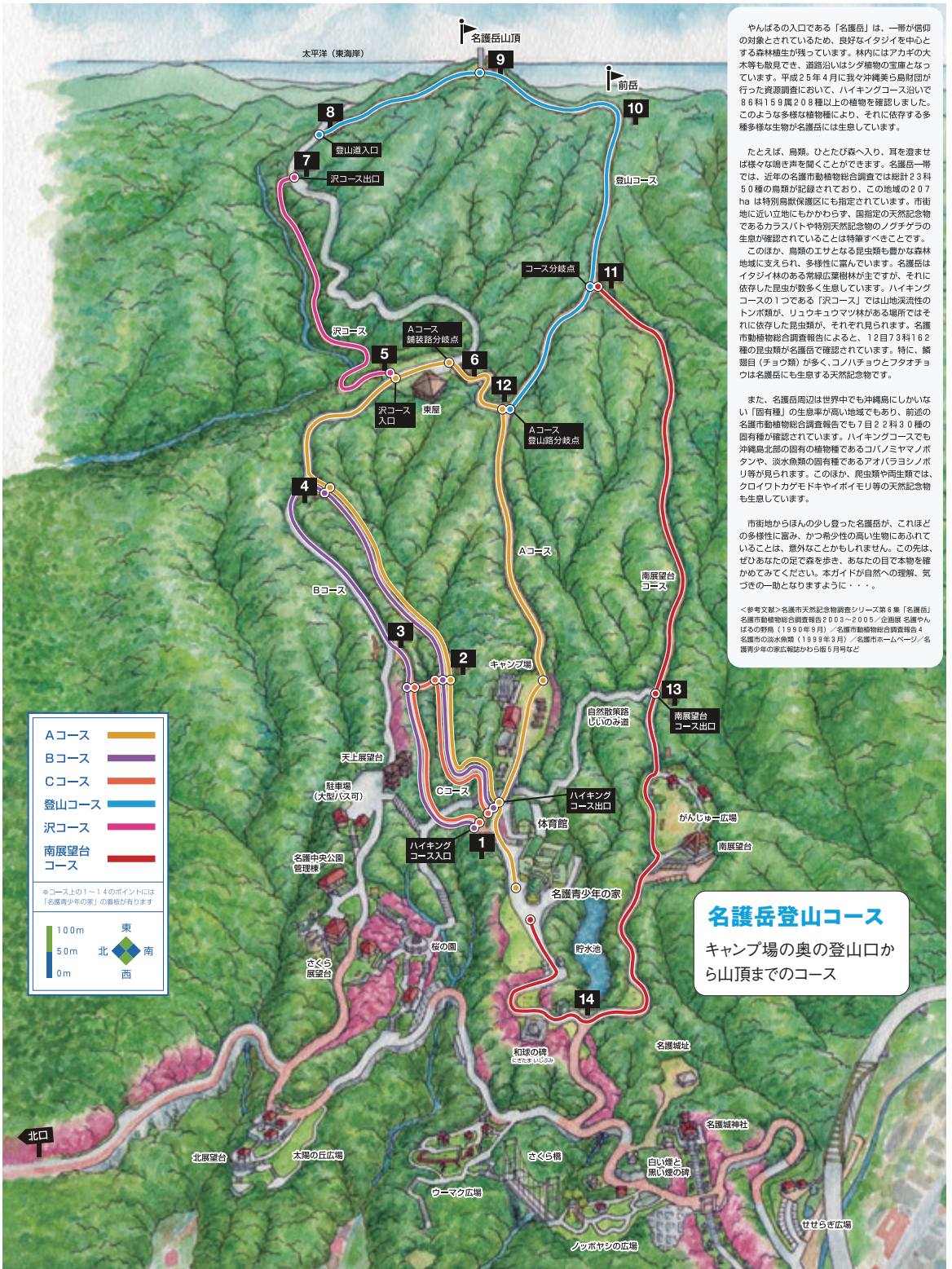
登山ルート

▼登山口から山頂までの所要時間

名護岳登山コース 約45分

※県立名護青少年の家駐車場に駐車、キャンプ場の奥が登山口

中腹の名護城にカンヒザクラが植えられ、毎年1月下旬ごろに桜祭りが開催されている。頂上からは名護市街地のほかに、国頭山地や本部半島の連山などを望むことができる。



やんばるの入口である「名護岳」は、一帯が塔頂の対象とされているため、良好なイタジイを中心とする森林帯が広がっています。林内にはアカガの大木も散見でき、道沿いにはシダ植物の宝庫となっています。平成25年4月に我々沖縄美ら島財団が行った資源調査において、ハイキングコース沿いで86科159属208種の植物を確認しました。このような多様な植物により、それに依存する多種多様な生物が名護岳には生息しています。

たとえば、鳥類、ひとたび森へ入り、耳を澄ませば様々な鳴き声を聞くことができます。名護岳一帯では、近年の名護市動物植物総合調査では総計23科50種の鳥類が記録されており、この地域の207haは特別鳥獣保護区にも指定されています。市街地に近い立地にもかかわらず、国指定の天然記念物であるカラスバトや特別天然記念物のノグチゲラの生息が確認されていることは特筆すべきことです。

このほか、鳥類の工巧な巣となる昆虫も豊かな森林地域に交えられ、多様性に富んでいます。名護岳はイタジイ林のある常緑広葉樹林が主ですが、それに依存した昆虫が数多く生息しています。ハイキングコースの一つである「沢コース」では山地深流性のトンボ類が、リュウキュウマツ林がある場所ではそれに依存した昆虫類が、それぞれ見られます。名護市動物植物総合調査報告によると、12目73科162種の昆虫類が名護岳で確認されています。特に、麗翅目(チョウ類)が多く、コノハチョウとフタオチョウは名護岳にも生息する天然記念物です。

また、名護岳周辺は世界中でも沖縄島にしかない「固有種」の生息率が高い地域でもあり、前述の名護市動物植物総合調査報告でも7目22科30種の固有種が確認されています。ハイキングコースでも沖縄島北部の固有の植物種であるコバノミヤマボクサや、淡水魚類の固有種であるアオハラコシボ山等が知られます。このほか、爬虫類や両生類では、クロイワトカゲモドキやイボイモリ等の天然記念物も生息しています。

市街地からほんの少し登った名護岳が、これほどの多様性に富み、かつ希少性の高い生物にあふれていることは、意外なこともかもしれません。この先は、ぜひあなたの足で森を歩き、あなたの目で本物を確かめてみてください。本ガイドが自然への理解、気づきの一助となりますように……

<参考文献>名護市天然記念物調査シリーズ第6集「名護岳」名護市動物植物総合調査報告2003～2005/企画員 名護やんばるの財団(1990年9月)、名護市動物植物総合調査報告4 名護市の淡水魚類(1999年3月)/名護市ホームページ/名護青少年家庭広域協会のホームページなど

名護岳登山コース

キャンプ場の奥の登山口から山頂までのコース



本部富士頂上からの眺望

本部富士～デーサンダームイ

本部町の円錐カルスト地形

本部町山里地区は、国内唯一の円錐カルストの山で囲まれた地域。円錐カルストとは、高温多湿な気候条件の地域で見られる円錐状の丘陵や岩石のこと。いくつもの山々が点在し、それらをめぐるように歩道が整備されている。

010 もとぶふじ 本部富士(ミラムイ)

●本部町 ▲標高 240m

☎ 本部町役場 / 0980-47-2101



左)本部富士 右)デーサンダームイから瀬底島



沖縄山岳会

登山ルート

本部富士

▼所要時間
約40分(登山口から山頂)

デーサンダームイ

約20分(登山口から山頂)

※本部ふるさと歩道駐車場に駐車

日本最南端のふるさと富士で知られている。遠足などのレジャー目的で登山が行われている。尖った石灰岩の合間を登っていく様子はさながらロッククライミングのようである。



沖縄海岸国定公園 本部ふるさと歩道



011 うふくしくむい ウフグシクムイ

●本部町 ▲標高 237m

☎ 本部町役場 / 0980-47-2101



沖縄山岳会

かつて城を築こうとしたが、水源地に乏しく断念したという伝説がある。山腹には、海まで通じていると言われる巨大な洞窟がある。



012 でーさんだーむい デーサンダームイ

●本部町 ▲標高 230m

☎ 本部町役場 / 0980-47-2101



「デーサンムン(金にならないもの)」が名称の由来ではないかと言われているが、その真偽はわからない。



013 あっただけ 熱田岳

●恩納村

▲ 標高 160 m

☎ 沖縄県 県民の森 / 098-987-8092



登山コースからの眺望



登山コースからの眺望



沖縄山岳会

登山コース

熱田岳には、沖縄県県民の森が整備されている。県民の森は、遊歩道を利用した山登りや自然探索、スポーツ、キャンプ、パークゴルフ等の野外活動拠点となっている。また、木のおもちゃで遊べたり、やんばるの森の歴史や沖縄の木の種類等について学べる屋内施設もあり、やんばるの森の自然や県産木材の魅力を感じることができる。



中央広場からみた熱田岳



沖繩山岳会

溪流コース

登山ルート

▼距離と所要時間

登山コースA	約600m(約30分)
登山コースB	約500m(約30分)
登山コースC	約1,300m(約1時間半)
溪流コース	約900m(約40分)

※県民の森駐車場に駐車

ハイキングコースには熱田岳を登る3つの登山コース、小川沿いの遊歩道を散策する溪流コースの計4つのコースがあり、景色や各自の体力等に合わせて選ぶことができる。登山コースは天気の良い日は頂上から本部半島や伊江島を眺望でき、散策中は季節ごとの植物を観察することができる。また、3つの登山コースを組み合わせたリ、登山コースの周辺には市町村の木が植栽されている森があるため、植物の観察する等、様々なハイキングコースの楽しみ方がある。溪流コースでは夏でも涼しく、山頂とは違った動植物の種類を観察することができる。

014 いしかわだけ 石川岳

●うるま市(恩納村、金武町)

☎ うるま市役所 / 098-974-3111、県立石川青少年の家 / 098-964-3263

▲ 標高 204m



県立石川青少年の家

石川岳山頂から金武湾を望む



県立石川青少年の家

コース内の滝



県立石川青少年の家

山頂標識

石川岳には、まるで映画に出てくるジャングルの世界に迷い込んだような場所や、川のせせらぎを感じながら歩く場所などコースによって様々な自然を楽しむことができる。初心者にもおすすめのコースになっている。



整備された登山コース

登山ルート

▼所要時間

Aコース 頂上往復1km(1~2時間)

Bコース 原始の森を通る2km(2~3時間)

Cコース 友愛の池を通る3km(3~4時間)

※県立石川青少年の家の駐車場に駐車

015 ほんなだけ バンナ岳(バンナ公園)

●石垣市

▲標高 230m

☎ 沖縄県都市公園課 / 098-866-2035、石垣市役所 / 0980-82-9911



整備された登山道



登山ルートのであい橋

中腹から見たバンナ岳(頂上は無線設備があり、立入禁止)



登山ルート

▼所要時間

登山コース

約45分

公園西口のであい橋からエメラルドの海を見る展望台までのコース。

※のであい橋手前の駐車場に駐車

バンナ岳は、石垣市街地の北方4kmに位置する山である。バンナ岳を中心に自然を楽しめる森林公園として整備されている。頂上付近にある「エメラルドの海を見る展望台」からは竹富島や黒島など八重山諸島の島々を望むことができる。

上)車でも行ける頂上付近の展望台
下)展望台から周辺離島を望む

016

よなはだけ
与那覇岳

世界自然遺産

● 国頭村

▲ 標高503m

問 国頭村役場 / 0980-41-2101



©OCVB

沖縄本島の最高峰。イタジイをはじめとする樹林が魅力で、ノグチゲラやヤンバルクイナなどの動物が生息している。※頂上付近は厳正な保護が求められており立入りを推奨していない。

Google map



017

いぶだけ
伊部岳

世界自然遺産

● 国頭村

▲ 標高351m

問 国頭村役場 / 0980-41-2101



沖縄山岳会

樹齢80年以上の広葉樹林、希少種の生息地。中腹に沖縄の名木百選にも認定されたオキナワウラジロガシがある。※オキナワウラジロガシより先の頂上へのルートは立入りを推奨していない。

Google map



018

だいせきりんざん
大石林山

● 国頭村

▲ 標高100m

問 大石林山 / 0980-41-8117 (民営施設)
入山料金 大人1,200円 小人550円 等

大石林山は、海中で形成された石灰岩が地殻変動によって地表に現れ、雨や風などに溶食・侵食され奇石が林立する風景が作りあげられている。奇石やガジュマルなどを見ることができるトレッキングコースがある。

Google map



019

たまつじやま
玉辻山

世界自然遺産

● 大宜味村 (東村)

▲ 標高289m

問 大宜味村役場 / 0980-44-3001



山頂からはイタジイ林が広がる通称「ブロッコリーの森」と、その向こうに広がる海や半島を見下ろすことができる。※山の保全を目的として現在、立入禁止となっている。

Google map



020

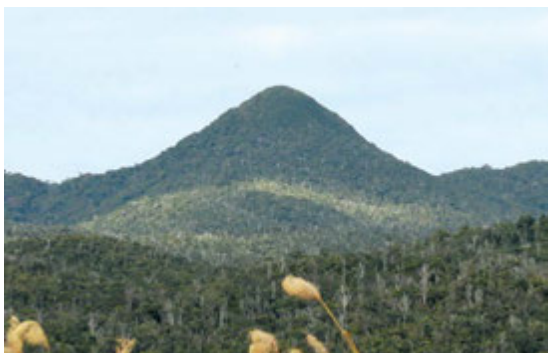
なかんたまちぢ

ナカンタマチヂ

● 東村

▲ 標高280m

問 東村役場 / 0980-43-2201



頂上東側からはイタジイ林が広がる通称「ブロッコリーの森」が一望できる。

021

えーらやま

エーラ山

● 東村

▲ 標高 不明

問 東村役場 / 0980-43-2201



福地ダム湖を挟んだエーラマタガー左岸側の尾根に位置する。ダム湖で分断される以前は山仕事など村民の生活の場として利用されていた。登山口がダム湖内に位置しており、立入は難しい。

022

うこーるやま

ウコール山

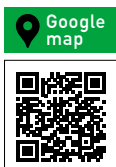
● 東村

▲ 標高160m

問 東村役場 / 0980-43-2201



「NPO法人 東村観光推進協議会」のやんばるの森の秘境ツアーとして活用されている。自然やかつての東村の生活跡が残されており、歴史や自然を学べる場所である。



023

いゆだけ

伊湯岳

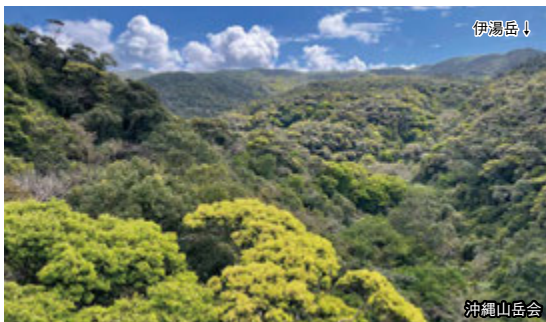
世界自然遺産

● 東村(国頭村)

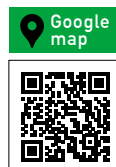
▲ 標高446m

問 東村役場 / 0980-43-2201

国頭村役場 / 0980-41-2101



国頭村と東村にまたがる山。東村の最高峰であり、植生はイタジイをはじめとする広葉樹林がみられ、頂上部には米軍の通信施設があり、管理道路が設けられている。



024

やえだけ

八重岳

● 本部町(名護市)

▲ 標高453m

問 本部町役場 / 0980-47-2101



©OCVB

本部町と名護市にまたがる山。カンヒザクラの名所としても知られており、日本で一番早い「桜まつり」が開催されることでも有名である。頂上までドライブがおすすめである。

Google map



025

うばしやま

宇橋山

● 名護市

▲ 標高284m



沖縄山岳会

冬から春にかけてサクラツツジの花が楽しめる。

Google map



026

たのうだけ

多野岳

● 名護市

▲ 標高385m



沖縄山岳会

360度視界が開け、山頂から周辺の島々を見渡せる県内随一の眺望の名所。山頂まで車で行くことができ、北部の初日の出スポットとしても知られている。※山頂へ向かう道路は現在閉鎖中

Google map



027

おとはだけ / おっばだけ

乙羽岳

● 今帰仁村

▲ 標高275m

問 今帰仁村役場 / 0980-56-2101



今帰仁村観光協会

車で山頂まで行くことができ、展望台から古宇利大橋、古宇利島などが眺められる大パノラマ。山頂公園にキャンプ場、遊具もあり、アウトドアを楽しむ場としても人気がある。

Google map



028

がらまんだけ

ガラマン岳

● 宜野座村

▲ 標高253m

問 宜野座村役場 / 098-968-5111



冬は北風を防ぎ、ドングリや猪等の食料、建築材や薪の供給等、人々は山の恩恵を受けて暮らしていた。

029

ぐすくやま

城山(伊江島タッチュー)

● 伊江村

▲ 標高172m

問 伊江村役場 / 0980-49-2001



「伊江島タッチュー」の名で親しまれている。オフスクレープ現象(古い岩盤が新しい岩盤に潜りこみ一部が剥がれ新しい岩盤の上に乗る現象)によって形づくられている。360°景色が見渡せる絶景スポット。



030

がようさん

賀陽山

自然環境保全地域

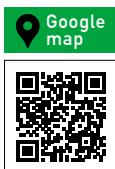
● 伊平屋村

▲ 標高294m

問 伊平屋村役場 / 0980-46-2001



伊平屋島の最高峰。山頂部からは、周辺の海のサンゴ礁を望むことができる。



031

こしだけ

腰岳

自然環境保全地域

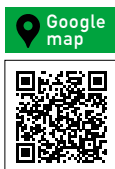
● 伊平屋村

▲ 標高227m

問 伊平屋村役場 / 0980-46-2001



遊歩道が整備されており、展望台からは田園風景を見渡すことができる。



032

みょうやま

妙山

●うるま市(沖縄市、恩納村)

▲標高201m

問うるま市役所／098-974-3111

沖縄市役所／098-939-1212



沖縄市、うるま市、恩納村にまたがる山。駐車場から階段が整備されており、約5分で到着する頂上には展望台があり、太平洋と東シナ海の両方がみることができる。

Google map



033

うんたまむい、うんたまもー

運玉森

●与那原町(西原町)

▲標高158m

問与那原町役場／098-945-2201

西原町役場／098-945-5011



西原町、与那原町にまたがる山。ピラミッド状の稜線を持つ美しい山容であり、「西原富士」などとも称される。そのため、運玉森は町のシンボルとして小中学校の校歌などに取り入れられている。

Google map



沖縄県の山の魅力



沖縄は、美しい海のイメージが強く、沖縄では登山ができるのかと、よく聞かれます。でも北部のやんばるの山々は貴重な動植物が数多く生息し、豊かな自然が広がっています。周囲には、標高の高い山がないため山頂から青い海を見渡せる絶景スポットのある山が多くあります。

また、険しい急登が少なく、県外の山々とは一味違う亜熱帯の森でしか見られない希少動物との出会いや植物などの観察を楽しむことができます。

034 よざだけ 与座岳

●糸満市

▲標高168m

問 糸満市役所 / 098-840-8111



糸満市の最高峰。頂上部は航空自衛隊の施設になっている。



035 やえせだけ 八重瀬岳

●八重瀬町

▲標高163m

問 八重瀬町役場 / 098-998-2200



八重瀬町の最高峰で、町名の由来となっている。北側は急崖をなしており、頂上に自衛隊基地が置かれ、中腹に整備された公園（八重瀬公園）は桜の名所として知られている。



036 すくなやま 須久名山（宿納の山）

●南城市

▲標高148m

問 南城市役所 / 098-917-5309



佐敷小学校と佐敷中学校の校歌に登場する。新作組踊「宿納森の獅子」はこの山を題材としたストーリーとなっている。山頂のほとんどはゴルフ場となっている。



037 だるまやま だるま山

●久米島町

▲標高203m

問 久米島町役場 / 098-985-7121



特に水鳥の生息地として、国際的に重要な湿地としてラムサール条約登録湿地に指定され、上江洲ダム周辺はガイドと共に散策する体験プログラムのフィールドとしても活用されている。



038

うえぐすくたけ

宇江城岳

●久米島町

▲標高310m

問 久米島町役場 / 098-985-7121



久米島町観光協会

久米島の最高峰。頂上には国指定史跡に指定の宇江城城跡があり、沖縄県内で最も高いところにある城跡である。



039

くみちじやま

久米頂山

●渡嘉敷村

▲標高37m

問 渡嘉敷村役場 / 098-987-2321



頂上の平坦地には、神女の神遊びの場アシビナー、麓には久米元の殿、スドンチナー（首里殿内ナー）、カナヒヤグの殿と長丈の殿、渡嘉敷神社がある。



040

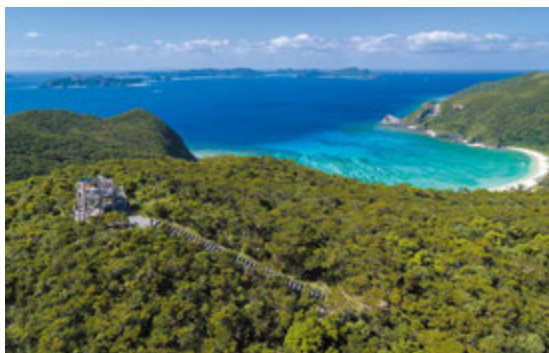
てるやま

照山

●渡嘉敷村

▲標高170m

問 渡嘉敷村役場 / 098-987-2321



照山園地遊歩道が整備されており、渡嘉志久ビーチ、慶良間海峡、阿波連ビーチを望むことができる。勾配があるが自然を楽しめるコースとなっている。



041

たかつきやま

高月山

●座間味村

▲標高131m

問 座間味村役場 / 098-987-2311



座間味村観光協会

けらま 慶良間随一の景勝地として、展望台公園が整備されており、島内の集落やビーチ、慶良間の島々、また、天気よければ粟国島、渡名喜島、久米島が遠望できる。



ぎっちゅやま
042 義中山

● 渡名喜村

▲ 標高137m

問 渡名喜村役場 / 098-98-2002



島の象徴であり、昔から村民に親しまれ、山の山頂近くまで耕作地として活用されており、段々畑の跡が残る。奇岩が露出するなど、ダイナミックで独特の景観が形成されている。



にしむい
043 西森

● 渡名喜村

▲ 標高146m

問 渡名喜村役場 / 098-98-2002



森の頂上まで歩道が整備され、現在では村民、観光客の登山コースとして親しまれている。山の頂上にある展望台からは、久米島、粟国、慶良間が展望できる。秋口には、希少植物であるキバナノヒメユリが咲く。



おっばいやま
044 おっばい山(通称)

● 宮古島市

▲ 標高69m

問 宮古島市役所 / 0980-72-3751



宮古島市城辺に位置する2つの小高い山。昔、大男が天秤をかつぎここで居眠りをし、寝過ぎてしまい、天秤を置き忘れたとの言い伝えがある場所。個人有地の為、立ち入る事が出来ない。



おもとだけ
045 於茂登岳

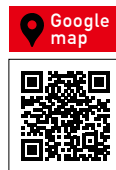
● 石垣市

▲ 標高525m

問 石垣市役所 / 0980-82-9911



於茂登岳は、石垣島に位置する沖縄県の最高峰。イタジイを中心とする照葉樹林に覆われているが、山頂付近はリュウキュウチクに覆われ、背の高い草地となっている。



046

ふかいおもとだけ

桴海於茂登岳

●石垣市

▲標高477m

問 石垣市役所 / 0980-82-9911



桴海於茂登岳は、石垣島では於茂登岳に次いで2番目に高く、沖縄県では於茂登岳、与那覇岳に次いで3番目に高い山である。方言ではフカイウムトゥダギと呼ばれ、地元では桴海大岳とも呼ばれる。



047

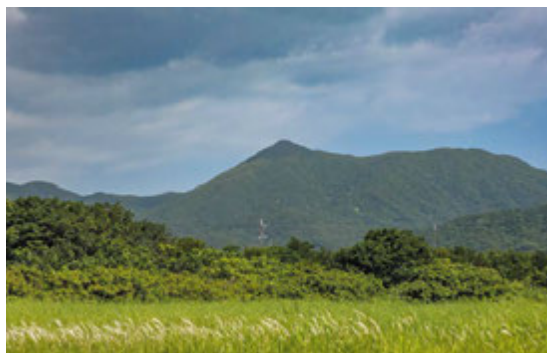
うまぬふぁだけ

ウマヌファ岳

●石垣市

▲標高450m

問 石垣市役所 / 0980-82-9911

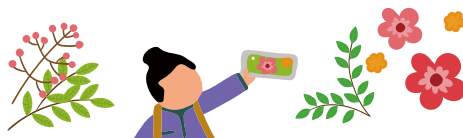


桴海於茂登岳を、さらに奥に進んだ場所にある。「ウマヌファ」とは、「馬の鞍」のことで、南側の山麓から望む山容が台形状で、馬の鞍に似ていることからこの名がついた。

沖縄の山の楽しみ方

梅雨が明けた7月～9月の間で、台風の影響がなく乾燥している日は、ブヨや虫も少なくのんびりと自然の中で登山を楽しむことができます。

沖縄の登山に最も適した時期は12月～2月で、蒸し暑さが少ないので虫も多くありません。この時期、亜熱帯林は花の



季節となり、本土では見られない植物の花が沢山咲きます。また、リュウキュウリミノキやセンリョウ、マンリョウの実を見ることができます。

長い暑さが続く沖縄では、1年の多くで山の中を流れる沢登り(沢歩き)を楽しむことができます。

048

のそこだけ、ヌスクマーペー

野底岳

●石垣市

▲標高282m

問 石垣市役所／0980-82-9911



地元では「ヌスクマーペー」と呼ばれている。ヌスクは野底の方言名で、マーペーは女性の名前。マーペーが故郷の黒島の恋人を思うあまり石化したとの伝説が残っている。



049

ぶざまだけ

ぶざま岳

●石垣市

▲標高322m

問 石垣市役所／0980-82-9911



地元では、ブザーマダキ、又は、ブサーマダキと呼ぶ。「ブザーマ」は方言で「尾」を意味し、於茂登山系の西端に位置することから名づけられたとされている。



050

まえだけ

前嵩

●石垣市

▲標高263m

問 石垣市役所／0980-82-9911



麓の集落では、前嵩を含めた一帯の地名を「マンヤマ」と呼ぶ。マンヤマとは「集落の前の山」という意味で、山の名称もここからついたとされる。



051

やらぶだけ

屋良部岳

●石垣市

▲標高217m

問 石垣市役所／0980-82-9911



山頂には巨石の先端が空間に突き出た、「トロルの舌」と呼ばれる岩がある。東シナ海や石垣島北部の山々を望む絶景スポットとなっている。



052

こみだけ

古見岳

世界自然遺産

●竹富町

▲標高470m

問 竹富町役場 / 0980-82-6191



西表島の最高峰。古見岳という山名は古見村(現在の竹富町古見の一部)の背後に位置すること由来する。地元では神が降り立つ山として信仰の対象となっている。

Google map



053

おおたけ、うふだき

大岳

●竹富町

▲標高99m

問 竹富町役場 / 0980-82-6191



竹富町の八重山のでんぶす(へそ)といわれる小浜島に位置し、八重山郡の島々を一望することができる。小浜島を代表する民謡「小浜節」はこの大岳からの眺望を謳ったものである。

Google map



054

にしおおたけ、にしうふだき

西大岳

●竹富町

▲標高90m

問 竹富町役場 / 0980-82-6191



西大岳は小浜島の大岳の西側に位置し、小浜島の眺望を楽しむことができる。中でも大岳を望むことができるのが魅力のひとつである。

Google map



055

うらぶだけ

宇良部岳

●与那国町

▲標高231m

問 与那国町役場 / 0980-87-2241



別名与那国富士の称がある。島民の生活や田畑への貴重な水源となっており、島民の信仰の対象となっている。

Google map



056

てんだはなた

テンダハナタ

● 与那国町

▲ 標高75m

問 与那国町役場 / 0980-87-2241



与那国町観光協会



祖納集落やナンタ浜を展望する天然の展望台になっている。サンゴ礁の隆起及び浸食によって形成された地形である。



沖縄県のオススメ登山コースは

- ① うるま市石川岳：ファミリー登山が楽しめます。
子供から高齢者も歩けるコースもあります。
- ② 県立県民の森(恩納村)：溪流コース、登山コースとあり、安心して登山が楽しめます。
- ③ 名護市：嘉津宇岳を除く三角山・安和岳・古巣岳の登山は、中級以上の登山技術が必要です。
- ④ 大宜味村：塩屋富士～クガニ岳～坊主森は、山頂から緑色の山々と青い海のコントラストが絶景スポットです。
- ⑤ 山原の沢コース：源河川・平南川 等



おきなわ 百低山

ここからは沖縄の低山巡りがより楽しめる！
滝や森林などの自然スポットと、
眺望の良い展望台などの
おすすめスポットをご紹介します！



002

くにかみそんしんりんこうえんせらびーろーど
国頭村森林公園
セラピーロード

● 国頭村

問 国頭村森林公園／0980-43-0514



公園内のセラピーロードは、イタジイ等の木々に囲まれ、野鳥の鳴声や四季折々の花木を観察しながら、コース内の湖に架かる浮栈橋、東シナ海を望める展望台などやんばるの森特有の雰囲気を楽しむことができる。



001

ひじおおたき

比地大滝

● 国頭村

問 比地大滝キャンプ場／0980-41-3636

入場料 大人500円 小人300円



落差25.7mの比地大滝は沖縄本島内最大の落差を誇る。大滝まで徒歩40分の道のりには遊歩道が整備され、のんびり歩きながらやんばるの大自然を楽しむことができる。



003

みちのえきやんばるばいなっぶるのおかあわ

道の駅やんばる パイナップルの丘安波

● 国頭村

問 道の駅やんばるパイナップルの丘安波／0980-43-5115



道の駅「やんばるパイナップルの丘安波」は、やんばる東海岸地域の観光拠点施設。地域の特産品や飲食メニューの他にも、屋上ブランコ、観察棟などがあり、やんばるの自然を感じながら時間を過ごすことができる。



004

おくやんばるのさと

奥やんばるの里

● 国頭村

問 奥やんばるの里／0980-50-4141



緑あふれる大自然に囲まれながら自由スタイルで滞在。辺戸岬から車で10分、沖縄本島最北端に佇む沖縄民家風コテージ、全室キッチンを完備しており、バーベキューができるテラス付きの部屋もある。



005

やんばるくいなてんぼうだい

ヤンバルクイナ展望台

● 国頭村

問 国頭村役場／0980-41-2101



高さ11.5mと村の鳥をモチーフにした展望台であり、辺戸岬等の本島北端の雄大な景色を望むことができる。



006

みちのえきおおぎみやんばるのもりびじたーせんたー

道の駅おおぎみやんばるの森ビジターセンター

● 大宜味村

問 道の駅おおぎみやんばるの森ビジターセンター／0980-44-2233



やんばる3村の特産品が購入できる販売所や飲食店があり、ドライブの疲れを癒すのに最適。また、観光案内所ではやんばるの森のパノラマ映像やVRなどを使った情報発信も行っている。



007

かわたのさきしますおうのき

川田のサキシマスオウノキ

● 東村

問 東村立山と水の生活博物館／0980-51-2828



福地川の河口から約1km上流の左手の国有林界にあり、樹高18m、胸高周囲約2.9mで、地上から1m余のところから大小15枚の板根が見事な流線型をなしている。同種の中では沖縄本島で最大。村指定天然記念物。



008

そんみんのもりつつじえこぱーく

村民の森 つつじエコパーク

● 東村

問 村民の森つつじエコパーク／0980-43-3300



宿泊施設や通年滞在型の自然体験施設。キャンプ場やバンガロー、パークゴルフ場、沖縄初のPAプログラム(冒険教育)施設、遊歩道などが整備され、一年を通してやんばるの豊かな自然とのふれあいが満喫できる。

Google map



009

ひがしそんふれあいひるぎこうえん

東村ふれあいヒルギ公園

● 東村

問 NPO法人東村観光推進協議会／0980-43-2433



都市との交流を促進するため慶佐次湾ヒルギ林周辺に整備された公園。ヒルギを間近で観察できる木道や展望台が設けられている。カヌーによる自然観察ツアーが大人気。

Google map



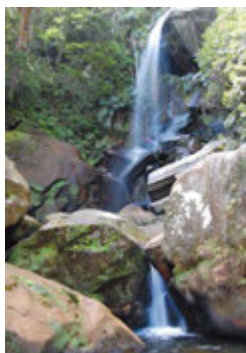
010

とどろきのたき

轟の滝

● 名護市

問 轟の滝管理室／0980-43-9299



沖縄県指定文化財。雄大な一枚岩を背景に流れ落ちる滝の高さは約28m。夜間にライトアップされ、七色に浮かび上がる滝を見ることができる。イベント広場や芝生エリアではBBQを楽しむことも可能。

Google map



011

びせのふくぎなみき

備瀬のフクギ並木

● 本部町

問 本部町観光協会／0980-47-3641



防風林として植えられたフクギが連なり、備瀬崎までの約1kmの並木道。木々の間から差し込む日差しとそよ風、落ち着いた静けさは、かつての沖縄の集落の様子と、ゆったりとした時間の流れを感じさせてくれる。

Google map



まんざもう
012 万座毛

● 恩納村

問 恩納村役場／098-966-1200



『万座毛』の由来は、「万人も座する草原」。「毛」とは、野原のこと。琉球石灰岩の台地の上には、天然の芝が広がり、その周りの植物群落は、県の天然記念物に指定されている。



まつだしょうにゅうどう
013 松田鍾乳洞

● 宜野座村

問 松田地区体験交流センター／098-989-8100



約10万年の時をかけて形成された松田鍾乳洞は、ほぼ手つかずのままの自然が残されており、大自然の神秘を地元のガイドさんの案内で体験することができる。



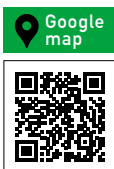
うっかがー
014 金武大川

● 金武町

問 金武町役場／098-968-2111



金武町の文化財に指定された共同井泉。井泉から湧く水は長寿の泉と呼ばれるほど水質がよく、上水道が普及する以前は、水汲みや家事の場として、そして暑い夏には涼を求める人が集まる憩いの場として親しまれてきた。



うみぎたら・あぎぎたら
015 海ギタラ・陸ギタラ

● 伊是名村

問 伊是名村役場／0980-45-2001



島の南東に位置し、その一帯は日本の渚100選にも選ばれた「二見ヶ浦海岸」。陸ギタラ麓の展望台から望む景色も美しい。ギタラとは切り立つ岩という意味で、海人の言葉とも伝えられてる。



016

かつれんじょうあと

勝連城跡

●うるま市

問 あまわりパーク管理事務所／098-978-2033



うるま市観光物産協会

世界文化遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして登録された。海外貿易により勝連に繁栄をもたらした城主、阿麻和利の居城として有名。太平洋が一望できる沖縄有数の景勝地。



017

かふうばんた

果報バンタ

●うるま市

問 ぬちまーす観光ファクトリー／098-923-0390



(株)ぬちまーす

ぬちまーす観光製塩ファクトリーの敷地内にある方言で「幸せ岬」を意味する果報バンタ。藍色からコバルトブルー、エメラルドグリーンへと移り変わる青のグラデーションに心を奪われる。



018

ちばなぐすく

知花グスク

●沖縄市

問 沖縄市役所／098-939-1212



©OCVB

知花グスクの築城者や築城時期は不明。第一尚氏の6代王・尚泰久に仕え、勝連城の阿麻和利を討ち取った武将である鬼大城最後の地という言い伝えがあり、中腹には鬼大城の墓がある。



019

とうまいぐしく

トゥマイグシク

●読谷村

問 読谷村観光協会／098-958-6494



読谷村観光協会

トゥマイグシクは「沖縄南八景」の一つとされる景勝地。戦前も行楽客が多く、ムラアシビ(農閑期における集落あげての舞踏会)の時期には地元の若者たちの歌や踊りの格好の練習場になったと言われている。



020

ひじゃがわしぜんたいけんせんたー

比謝川自然体験センター

● 嘉手納町

問 比謝川自然体験センター／098-989-4222



沖縄本島で最大の流域面積を持ち、緑豊かな自然に恵まれた比謝川。本センターでは比謝川の自然や生き物について学べるほか、カヤック等が体験できる。



021

じゃーがるこうえん

謝苺公園

● 北谷町

問 北谷町役場／098-936-1234



住宅地エリアの高台に位置する「謝苺公園」は、眺望の良い展望公園。夕陽や北谷町から宜野湾市にかけての夜景の鑑賞を楽しめ、デートスポットとしても人気を集めている。



県内の登山状況

沖縄には、山岳会の組織があり、現在会員数150人で登山活動をしています。

活動山域は、やんばるの山を中心に、6月～9月は沢歩き。秋～冬は、山歩きをしている。

最近、沖縄県の登山愛好者が多くなり、毎年道迷いの遭難事故が多発している。

2022年は、沖縄県の山で遭難が23件発生している。登山を楽しむためにも、地域のガイドや地元の詳細い方に依頼して、一緒に登山することを推奨します。



022

なかぐすくじょうあと

中城城跡

● 北中城村

問 (一社)中城村観光協会 / 098-975-5309



(一社)中城村観光協会

中城城跡は、標高約160mの丘陵上にある。城は、連郭式の山城で6つの郭からなり、城壁は琉球石灰岩で積まれ、自然の岩石と地形的条件を巧みに生かした美しい曲線で構成されている。



023

なかぐすくはんだう

中城ハンタ道

● 中城村

問 (一社)中城村観光協会 / 098-975-5309



中城村教育委員会

中城ハンタ道は、琉球王国時代前半の首里城から勝連城までを結ぶ幹線道の中城村内を通る全長約6.2kmの歴史の道。東側に広がる村落風景と中城湾が重なる美しい景色は散策する人を楽しませてくれる。



024

かかずたかだいこうえん

嘉数高台公園

● 宜野湾市

問 宜野湾市役所 / 098-893-4411



©OCVB

小高い自然林を利用して造成された公園。沖縄戦では、多くの犠牲者を出したと言われ、その慰霊の塔が建てられている。公園内には地球儀をイメージした展望台があり、北は残波岬、西は慶良間諸島などが見える。



025

わかりじー

ワカリジ (為朝岩)

● 浦添市

問 浦添市役所 / 098-876-1234



浦添市観光協会

浦添城跡の東端に高く突出した石灰岩。標高は約148mで市内の最高峰。「為朝岩」とも呼ばれ、戦跡としては「ニードルロック」とも呼ばれている。地域の信仰を集める拝所ともなっている。



026

すえよしこうえん

末吉公園

● 那覇市

問 那覇市役所 / 098-867-0111



ヤシの木やハイビスカスなど南国特有の植物が生い茂り、鳥の声や川のせせらぎを聞きながら森林浴を楽しむことができる。また、琉球王府から厚く保護された琉球八社のひとつ「末吉宮」がある。



027

しゅりさきやまこうえん

首里崎山公園(雨乞嶽展望台)

● 那覇市

問 那覇市役所 / 098-867-0111



園内にある雨乞嶽展望台からは那覇のまちを眺めることができ、その景色は、首里八景の一つとして謳われている。また、「雨乞嶽」や「崎山御嶽」、「崎山樋川」といった琉球王朝と所縁のあるスポットがある。



028

じじむい

数珠森

● 豊見城市

問 豊見城市役所 / 098-850-0024



数珠森は、豊見城市与根の平野の中にある小高い丘であり、大干ばつの際に王府役人達が雨乞いをしたといわれている場所のひとつ。道路整備のために東西に分断されている。



029

へいわそうぞうのもりこうえん

平和創造の森公園

● 糸満市

問 沖縄県平和創造の森公園 / 098-852-4033



沖縄県平和創造の森公園は、緑化推進の拠点及び平和への思いを新たにする場とするため、第44回全国植樹祭会場跡地を整備して開園した公園。広大な園内では多種多様な樹木や草花を親しむことができる。



ほろほろーのもり

030

ホロホローの森

● 八重瀬町

問 八重瀬町役場／098-998-2200



八重瀬町観光物産協会

八重瀬町中央公民館具志頭分館の裏手にある森は、「ホロホローの森」と呼ばれ、海岸へと続く約600mの遊歩道が整備されている。「ホロホロー」とは、地域の言葉でこの森で多く見られる「ヤブニッケイ」のこと。



ちねんじょうあと

031

知念城跡

● 南城市

問 南城市役所／098-917-5309



国指定史跡「知念城跡」。緑で覆われた森から城壁近くに出ると、爽やかな風が吹き抜け、晴れた日には目の覚めるようなコバルトブルーの海と空が広がります。



おきなわけんりつたまぐすくせいしょうねんのいえ

032

沖縄県立 玉城青少年の家

● 南城市

問 県立玉城青少年の家／098-948-1513



県立玉城青少年の家

雄大な自然や景観に恵まれ、周辺の森や史跡を含め、アドベンチャーウォークや自然観察等の多彩な野外活動やプログラムを発信している。



あまごもり

033

雨乞森

● 与那原町

問 与那原町役場／098-945-2201



地域の中学校の校歌にも登場する地域で親しまれている森と言える。かつては、沖縄初の遊園地「与那原テック」があり、大人気のレジャースポットだった。現在はゴルフ場となっている。



034

たかつかざん

高津嘉山

● 南風原町

問 南風原町役場 / 098-889-4415



南風原町観光協会

高津嘉山には世界初の動力飛行として知られるライト兄弟よりも100年以上前に有人飛行を成功させたといわれる「飛び安里」という人物の偉業を称えるため、1991年に記念碑が建立されている。



035

あかまやまのほうかだいあと

赤間山の烽火台跡

● 渡嘉敷村

問 渡嘉敷村役場 / 098-987-2321



琉球王国時代、通信の手段として烽火^{のろし}を考え、周辺の島々に烽火台が建てられた。その中のひとつが渡嘉敷島の赤間山の頂上に残っている烽火台跡である。



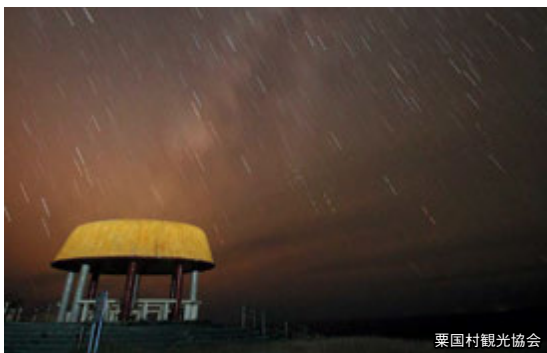
036

まはな

マハナ

● 粟国村

問 粟国村役場 / 098-988-2016



粟国村観光協会

島の西端に位置し粟国島を代表する絶景スポット。むんじゆる笠をイメージした展望台が目印。晴れた日には沖縄本島、慶良間諸島、渡名喜島、久米島等の島々が見渡せる。



037

ひのまるてんぼうだい

日の丸展望台

● 南大東村

問 南大東村役場 / 09802-2-2001



南大東村観光協会

昭和の初期、青年団がこの山を集団活動の拠点とし、日の丸を掲揚して一日の合図としたことから、日ノ丸山と呼ばれている。展望台からは島の全景が一望でき、北大東島も見渡すこともできます。



038

だいとうぐう

大東宮

●北大東村

問 北大東村役場／09802-3-4001



大東宮は北大東島にある神社である。境内の森は夜間、天然記念物のダイトウオオコウモリが飛び回るため生態観察に適している。9月22日から23日にかけて行われる例祭は島一の大きな行事。



039

おおのさんりん

大野山林

●宮古島

問 宮古島市役所／0980-72-3751



宮古島最大の森林。リュウキュウマツ、タブノキ等の樹木が多く、多種多様な植物が生育している。散策路のコースも整備され、地元の人々に森林浴のほか、野鳥を観察する場としても利用されている。



040

やえやまとうみだいこうえん

八重山遠見台公園

●多良間村

問 多良間村役場／0980-79-2011



多良間村ふしやめふ観光協会

国指定の史跡、先島諸島火番盛の一つで、島で一番高い丘陵地に島特有の砂岩の切石を積み上げ築造されている。鎖国体制時代に薩摩支配下の琉球王府によって設置され、海上交通の監視を行った。



041

びないさーらのたき

ピナイサーラの滝

●竹富町・西表島

問 竹富町役場／0980-82-6191



竹富町観光協会

船浦湾に注ぐヒナイ川上流にある沖縄県最大の落差(約55m)を誇る滝。「ピナイ」は「ひげ」、「サーラ」は「下がった」を意味すると言われ、白いヒゲが垂れ下がっている様子から名づけられた。



042

まりゆどうのたき

マリユドウの滝

● 竹富町・西表島

問 竹富町役場／0980-82-6191



竹富町観光協会

マリユドウの滝は、二段になっており、滝壺が丸いのが特徴。「マリ」丸い「ユドウ」淀みが名前の由来。「日本の滝100選」に選ばれており、落差約20m。遊歩道を30分歩いた先の展望台から一望できる。



043

かんびれーのたき

カンビレーの滝

● 竹富町・西表島

問 竹富町役場／0980-82-6191



竹富町観光協会

カンビレーの滝の「カンビレー」とは方言で「神の座」を意味する、西表島の15ヶ所の神が集まり、シマづくりの談合をしたと言われ、現在も聖地として敬われている。約200mにわたり階段状の滝が続いている。



044

ゆつんのたき

ユツンの滝

● 竹富町・西表島

問 竹富町役場／0980-82-6191



竹富町観光協会

ユツンの滝は落差約30mで、ブロック状の巨岩を積み上げたような3段の滝になっており、幻想的な森の中をトレッキングで向かう。ピナイサーラより100m以上も高い滝上からは圧巻の絶景を見ることができる。



本ガイドブックの編集に協力 沖縄山岳会から一言

沖縄山岳会は、世界自然遺産にも登録された生物多様性の豊かな沖縄の自然を次世代に繋げていくため、行政機関や地域の方々と連携し、自然環境保全への関心や理解が高められるよう情報発信や担い手の育成などの活動を進めてまいります。





これからも沖縄の身近な自然を投稿して 山を知り、山に感謝し、山を楽しもう！

※危険な場所での写真撮影は事故につながりますので、お控えください。

応募作品はインスタグラムで
下記ハッシュタグを検索すると
ご覧になります。

#おきなわ百低山





©OCVB

世界自然遺産
登録地の与那覇岳
沖縄本島最高峰



本部半島にそびえ立ち、
三角形の山容から
「富士」の名が冠された本部富士



山と海の広がりが見える
ネクマチヂ岳



秘境ツアーで活用されている
ウコール山



沖縄県最高峰(525m)の
於茂登岳



白砂と美しい海が
望める照山



第7回「山の日」全国大会実行委員会

(事務局) 沖縄県環境部環境再生課 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟4階
TEL: 098-866-2064 メール: aa021100@pref.okinawa.lg.jp